

伊予市史資料集第9号

灘町宮内家文書目録

近世編③

2024年3月

愛媛県伊予市教育委員会

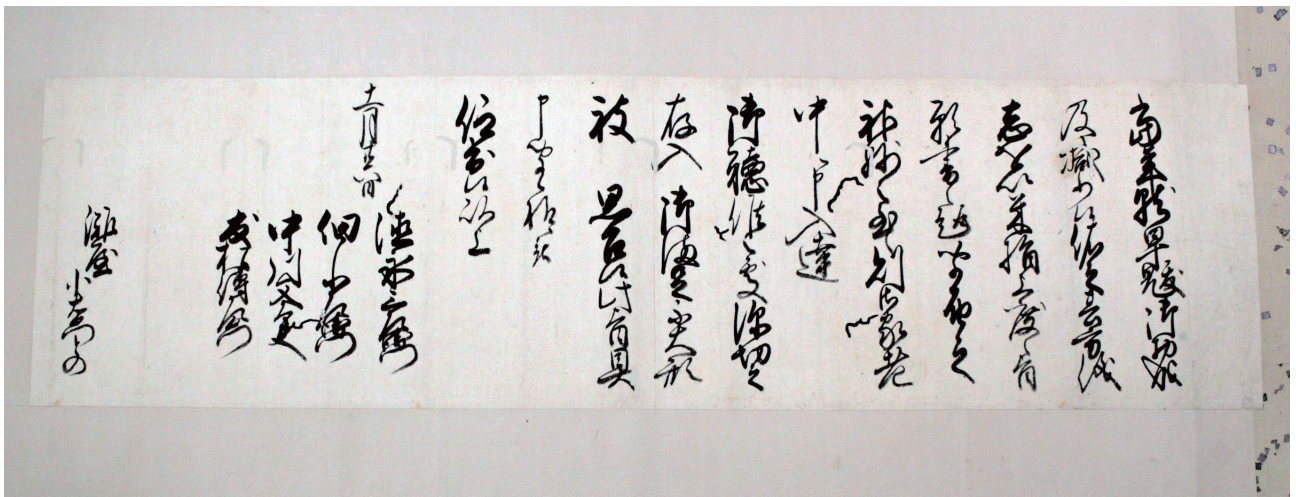
伊予市史資料集第9号

灘町宮内家文書目録

近世編③

2024年3月

愛媛県伊予市教育委員会



干ばつの時の米差し上げにつき家老衆よりの礼状 (N01)

當年就旱魃御物成
及減少候、依之其方儀
志を以米指上度候旨
願書之趣聞届之
神妙之至候、則御家老
中へ申入達
御聴候之處、深切之
存入 御満足不大形
被 思召候、此旨具
申聞候様二被
仰出候、以上、

十一月廿六日

徳永三左衛門
佃小左衛門
中川文太夫
友松傳左衛門
灘屋

小右衛門との

當年干ばつに就き、御物成減少に及び候、
これに依り其方儀、志をもつて米差し上げたう候旨
願書の趣これを聞届け神妙の至候 則ち御家老中へ申し入れ
御聴に達し候のところ、深切の存じ入れ御満足大形ならず
思召され候、この旨具に申し聞かせ候様に仰せ出され候、以上

十一月廿六日

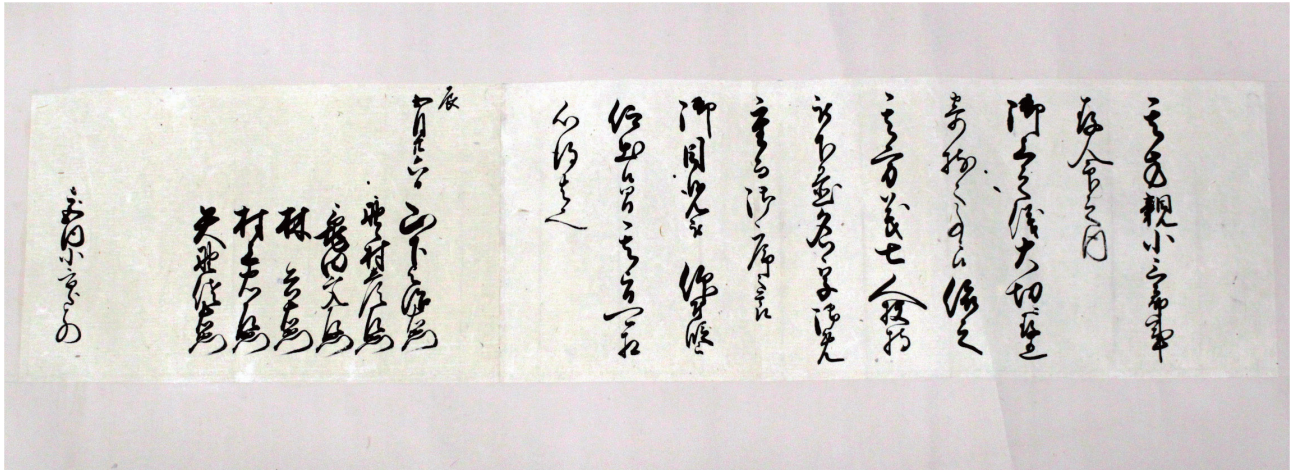
徳永三左衛門
佃小左衛門
中川文太夫
友松伝左衛門

灘屋

小右衛門との

宮内小三郎の一族灘屋小右衛門が、藩が旱魃により税収が減少
している中で、米を献上する旨の願書を家老中を通じ藩主に提
出したところ、藩主加藤泰統がそれを受けて大変満足している
旨を伝達した文書。

記された家老名から享保九（一七二四）年のものと推測される。



親小三郎の功績につき息子小市郎扶持方七人分名字免許の通知（N06）

其方親小三郎事、
存命之内、
御上之儀大切ニ存□
奇特之事ニ候、依之
其方義七人扶持
被下置、名字御免
重而御序之節
御目見被 仰付段、被
仰出候間、其旨可相
心得者也
辰五月廿六日 山下与治右衛門
野々村彦左衛門
龜田文左衛門
林兵右衛門
村上忠佐衛門
矢野佐右衛門
宮内小市郎との

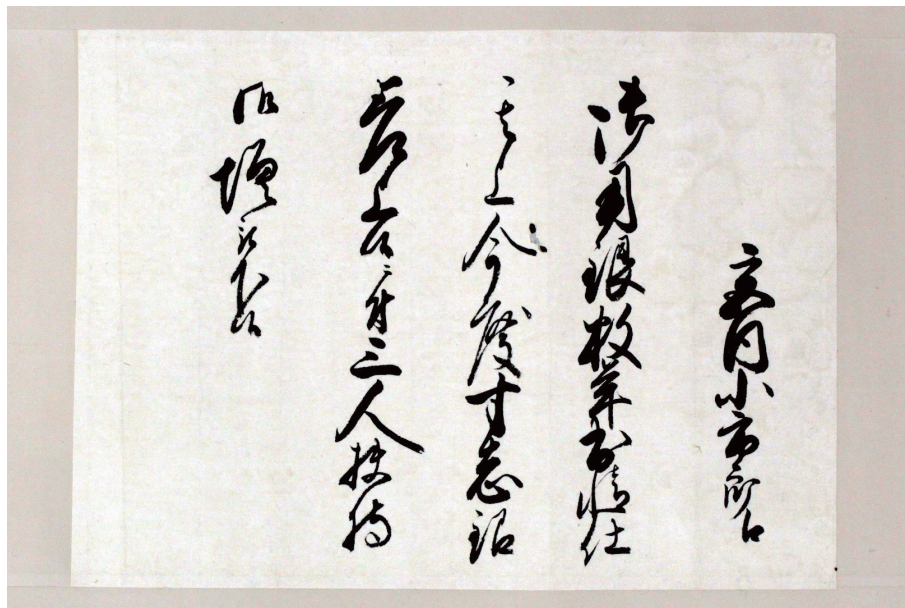
その方親小三郎事、存命の内
御上の儀大切に存じ□
奇特の事に候、これによつて
その方義、七人扶持下し置かれ、名字御免
重ねて御序の節御目見え仰せ付けらる段、
仰せ出され候間、その旨相心得べきものなり

辰五月廿六日 山下与治右衛門
野々村彦左衛門
龜田文左衛門
林兵右衛門
村上忠佐衛門
矢野佐右衛門

宮内小市郎との

宮内小三郎の子小市郎に対し、亡父小三郎の藩に対する
功勞により、藩主加藤泰衙から七人扶持、名字御免及び
御目見えの許可を小市郎に与える旨を家老たちが伝達し
た文書。

宝暦十（一七六〇）年のものと推測される。



寸志銀差し上げにつき三人扶持加増の通知（N07）

宮内小市郎江

御用銀数年出精仕

其上今度寸志銀

差上候二付、三人扶持

御増被下候

宮内小市郎江

御用銀数年出精仕り、

その上今度寸志銀差し上げ候につき、

三人扶持御増し下され候

宮内小市郎に対し、小市郎が数年御用銀を献上したうえ、
今回寸志銀を献上した功勞に対し、殿様から三人扶持を
加増されたことを伝達した文書。

はじめに

『灘町宮内家文書』は、平成 11（1999）年に公開されてから、愛媛大学名誉教授である内田九州男先生と灘町・宮内邸を守る会が中心となって、3,000点余りの文書の整理と調査を行っています。その中の近世文書を目録化し、平成 30 年 3 月に第 1 編を、平成 31 年 3 月に第 2 編を刊行しました。その後も、第 1 編、第 2 編に掲載されなかった史料の整理を進め、この度、第 3 編を刊行するはこびとなりました。

『灘町宮内家文書』からは、多くのことを読み取ることができ、人々の様子を伺い知ることができます。今後、宮内家ならびに灘町の研究がさらに進むことにより歴史が解明され、地域の歴史資料として多くの皆様にご活用いただけますと幸いです。

さて、『灘町宮内家文書』が発見された宮内家住宅は、平成 30 年 5 月に国の登録有形文化財として登録されました。現在は歴史的な建物を活かし「ミューゼ灘屋」として活用され、市民の活動や憩いの場所となっています。さらに、伊予市の魅力や文化を発信する場所としても活用されています。

最後になりましたが、『灘町宮内家文書』を寄託いただいた宮内真之助氏、灘町宮内家文書の調査から資料集発刊までご尽力いただいた内田九州男先生、本書編集のお世話をいただいた灘町・宮内邸を守る会の門田眞一氏に厚くお礼申し上げます。

令和 6 年 3 月 31 日

伊予市教育委員会
教育長 上岡 孝

凡例

- 1 本資料集は、伊予市に寄託を受けた『灘町宮内家文書』のうち、近世文書 428 点の目録である。
- 2 本資料集の編集は、内田九州男氏（愛媛大学名誉教授）及び福積和富・松本美香（伊予市教育委員会社会教育課）が行った。
- 3 目録は、内田九州男氏指導の元、平成 11 年度～平成 21 年度の間、愛媛大学法文学部人文学科日本歴史文化論研究室に所属する学生が行い、最終的には内田九州男氏が整理をした。
- 4 翻刻は内田九州男氏が行った。
- 5 史料の原文をパソコンで文字入力したが、その際の翻字の方針は以下のとおりである。
 - ① 文字が判読できない場合には、字数が分かるものは□で、分からない場合には[]であらわした。
 - ② 異体字などコンピューター搭載の字体にない場合は、常用漢字か類似の字体とし、変体仮名は平仮名に改めた。
 - ③ 欠字は、原文のとおり表記した。
 - ④ 読者の便宜のために、適宜、読点を挿入した。
- 6 資料に即した翻刻を行っているため、現在では人権の視点から不適切な表現があるが、史実を正しく知ることによって、人権擁護・差別根絶の意識が高められることを願い、そのまま記した。
- 7 写真は、伊予市教育委員会が撮影した。

参考文献

愛媛県 1987『愛媛県史 近世下』

伊予市 2000『伊予市灘町・湊町地区伝統的町家建物調査報告書』

アトラス出版 2001『郡中町家物語－伊予市灘町・湊町の歴史と文化を訪ねて』

愛媛県高等学校教育研究会 2002『伊予市の風土と人々の暮らし』地理歴史・公民部会地域調査報告

内田九州男 2002『伊予の近世史を考える』創風社出版

内田九州男・寺内浩・川岡勉・矢野達雄 2003『愛媛県の歴史』山川出版社

伊予市 2005『伊予市誌』

愛媛県教育委員会 2006『愛媛県の近代和風建築－近代和風建築総合調査報告書』

灘町宮内家文書の概要

灘町宮内家文書は平成 11 年（1999）12 月、灘町宮内邸を守る会ならびに愛媛大学内田研究室に調査・整理のためにオープンにされた。以後今日まで灘町宮内家文書の調査整理は断続的に進められている。

灘町宮内家文書は、近世文書 900 点、近代文書 2,000 点、年代不詳文書 100 点、さらに灘町絵図や宮内家の住宅関係の絵図等で構成されていて、合計 3,000 点余。

今回、『灘町宮内家文書近世編』の①②につづいて③として近世編目録がまとめられた。

灘町宮内家文書の整理経過

平成 4 年（1992）4 月 1 日	内田九州男氏、愛媛大学へ転勤。
平成 11 年（1999）4 月 24 日	内田九州男氏、伊予市歴史文化の会 20 周年記念総会講演「灘町の興りと宮内家」
平成 11 年（1999）12 月 12 日	灘町宮内家文書調査及び写真撮影が始まる。
平成 12 年（2000）3 月 11 日	灘町宮内家文書調査
平成 12 年（2000）4 月 8・9 日	灘町宮内家文書調査
平成 12 年（2000）5 月 27 日	灘町宮内家文書調査
平成 12 年（2000）9 月 9～11 日	灘町宮内家文書調査（合宿「栄養寺」）
平成 12 年（2000）11 月 18・19 日	灘町宮内家文書調査
平成 13 年（2001）4 月 15 日	灘町宮内家文書調査
平成 13 年（2001）7 月 28・29 日	灘町宮内家文書・道具類展示（灘町宮内家）
平成 13 年（2001）11 月 30 日	『郡中町家物語』発刊（アトラス出版）
平成 19 年（2007）11 月 24 日	灘町宮内家資料一括内田研究室預かり
平成 20 年（2008）7 月 28・29 日	灘町宮内家文書・資料展示（灘町宮内家）
平成 29 年（2017）4 月 27～30 日	灘町宮内家文書・資料展示（灘町宮内家）
平成 30 年（2018）3 月	『灘町宮内家文書目録近世編①』刊行
平成 30 年（2018）4 月～12 月	灘町宮内家文書調査
平成 31 年（2019）3 月	『灘町宮内家文書目録近世編②』刊行
平成 31 年（2019）3 月 23 日	内田九州男氏、伊予市郷土文化講演会講演「灘町の発展と宮内家の経営」
令和 4 年（2022）6 月 25 日～	灘町宮内家文書調査
令和 5 年（2023）1 月 21 日	（『灘町宮内家文書近世編③』の作成にあたり愛媛大学卒業生の天野奈緒也氏、寺川仁氏、熊谷広行氏、郷田秀和氏の協力を得た。）
令和 6 年（2024）3 月	『灘町宮内家文書目録近世編③』刊行

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
A01	覚	戊七月		7		米湊村	12.6×34.4	1	折紙
A02-0	證文一通 (包紙)					あぶらや幸左衛門	33.5×24.8	1	
A02-1	借用證文之事	文政四辛巳六月	1821	6		油屋幸右衛門・灘屋孫右衛門→ 宮内伊兵衛	25.0×33.2	1	豎紙
A03-0	借用證文巻通 (包紙)						34.4×24.9	1	
A03-1	借用證文之事	文政二己卯歳十二月	1819	12		道後屋安藏、満屋徳助、小谷屋 兵五郎	25.5×34.4	1	豎紙
A04-0	実綿添書巻通 (包紙)					堀江屋富治郎	33.0×24.6	1	
A04-1	添書之事	壬寅四月十日		4	10	貸主堀江屋富治郎、証人米屋伊 助、同渡部喜右衛門→仲田和助	24.9×34.0	1	
A04-2	覚	卯六廿六日		6	26	渡部喜右衛門→宮内伊兵衛	16.3×33.2	1	
A05-0	一札 (包紙)					塩屋久吉	24.2×16.7	1	
A05-1	覚	文政二己卯歳七月	1819	7		借主塩屋久吉、請人坂本屋嘉右 衛門→宮内伊兵衛	24.6×16.8	1	
A06-0	(朱書) 百七五巻貫式百目 来る十二月切 (包紙)						34.8×17.4	1	
A06-1	借用證文之事	文化九壬申年十二月	1812	12		灘屋儀七、宮内小三郎、国文四 郎→宮内伊兵衛	25.4×34.4	1	

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 曆	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
A06-2	覚						15.7×14.0	1	
A07-0	借用證文巻通 (包紙)					宮内弥三右衛門	34.6×12.5	1	
A07-1	借用證文之事	文政元戊寅歳十二月	1818	12		宮内弥三右衛門→宮内伊兵衛	25.1×28.0	1	
A08-0	請取 (包紙)					傳藏	24.6×17.4	1	
A08-1	覚	丙寅十二廿六日		12	26	伊与木屋傳藏→灘屋伊兵衛	16.5×18.7	1	
A09-0	證文 (包紙)					天岸昇安	27.2×20.1	1	
A09-1	借用證文之事	文政十三寅年四月	1830	4		天岸昇安→宮内伊兵衛	27.2×28.1	1	
A10	(書簡)	極月廿二日		12	22	永井源九郎→宮内伊兵衛	16.2×33.9	1	
A11-0	借用手形巻通 (朱書) 丑 七五四百目 (包紙)						24.9×11.8	1 豎紙	
A11-1	覚	文化十三丙子歳十二月廿 四日	1816	12	24	森村永井源九郎→宮内伊兵衛	24.7×22.6	1 豎紙	
A12-0	借用證文 (包紙)						33.7×34.7	1 豎紙	
A12-1	借用證文之事	天保三壬辰十一月	1832	11		宮内伊兵衛、請人宮内弥三右衛 門→宮内今吉	25.1×28.1	1 豎紙	

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
A13-0	證文 (包紙)					宮弥七郎	25.3×16.1	1	豎紙
A13-1	覚	寅三月廿三日		3	23	岡弥七郎→宮内伊兵衛	24.8×19.9	1	豎紙
A14-0	(朱書) 巳六日五十目十一月十五日切覚帳之二月 (包紙)						23.9×11.3	1	豎紙
A14-1	覚	巳十一月十七日		11	17	借主元右衛門、請人六右衛門→灘屋伊兵衛	23.9×22.2	1	豎紙
A15-0	預り入 (包紙)					坂本屋	24.7×17.6	1	豎紙
A15-1	(坂本屋弥八預り證文)	戌十二月廿九日		12	29	坂本屋弥八	13.7×8.0	1	
A16-0	(朱書) 辰七五巻貫目巳十一月切 (包紙)					なだや喜兵衛	24.6×17.1	1	
A16-1	覚	文化五戊辰年十二月	1808	12		灘屋喜兵衛→宮内伊兵衛	27.7×24.0	1	
A17	覚	四月廿六日		4	26	三借主利三郎、請人与五郎→宮内伊兵衛	17.3×24.1	1	
A18	覚	午二月五日		2	5	綿役所→宮内伊兵衛	16.2×25.1	1	
A19-1-0	癸酉六〇巻貫目百五拾九匁三分八厘 来亥年迄十ヶ年紙銭					和泉屋甚助	25.6×17.1	1	

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
A19-1-1	覚	文化十酉年十二月	1813	12		借用主泉屋甚助、請人三津口江 屋庄七→宮内伊兵衛	26.9×31.6	1	
A19-2-0	(朱書) 米六〇老貫式 百八十八匁式分来る辰年切 年口銀					いづ甚	26.7×17.5	1	
A19-2-1	覚	文化八未年十二月	1811		12	借用主泉屋甚助、請人□屋庄七 →宮内伊兵衛	27.1×17.0	1	
A20	覚	酉十二月大晦日		12	31	宮内弥三右衛門→灘屋利八	16.0×20.3	1	
A21	文化十癸酉極月	文化10	1813				16.2×43.0	1	
A22-0	手形壺通 (包紙)						19.9×16.0	1	
A22-1	覚	戊寅三月廿二日		3	22	鷺野海三郎→永井房兵衛	16.1×19.0	1	
A23-0	證文壺通 (包紙)					森屋-源助	34.6×25.1	1	「未A-五BC申三月切」と 朱書あり
A23-1	借用證文之事	文化八辛未年十二月	1811	12		借主森屋-源助 請人高砂屋卯 三郎→宮内伊兵衛	25.2×20.2	1	
A24-0	(包紙)						24.9×17.4	1	
A24-1	一札手形之事	天保五甲午年十二月	1834	12		中神治郎助→宮内伊兵衛	16.7×22.1	1	

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
A25-0	借用證文巻通 (包紙)						25.0×15.3	1	
A25-1	借用證文之事	文政戊子年十一月	1828	11		加判灘屋房助 借主西谷屋直吉→宮内伊兵衛	24.9×28.6	1	
A26-0	(包紙)						24.7×34.7	1	
A26-1	借用手形之事	文政十丁亥歳七月	1827	7		甚弥七郎→宮内伊兵衛	24.7×29.7	1	
A27-0	借用證文巻通 (包紙)					灘孫	34.1×24.5	1	
A27-1	借用證文之事	文政八乙酉歳正月	1825	1	1	借用主灘屋孫右衛門 請人同勝五郎→宮内伊兵衛	27.6×35.1	1	
A28-0	(朱書) 未七五八百目来辰年切 (包紙)					世登屋嘉平治	27.3×20.0	1	
A28-1	覚	寛政十一巳未年三月日	1799	3		世登屋嘉平治→宮内伊兵衛	27.2×39.7	1	
A29-0	證文一札 (包紙)						34.2×23.9	1	
A29-1	借用證文之事	文政四辛巳十二月	1821	12		小谷屋兵五郎 米屋廣助 高砂屋弥兵衛→宮内伊兵衛	24.0×34.2	1	
A30-0	預り入 (包紙)					出海元	26.7×19.8	1	
A30-1	(預り)	卯二月二日		2	2	出海や元助	18.2×7.8	1	

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 曆	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
A31-0	證文 (包紙)					對馬屋利助	24.5×13.2	1	
A31-1	借用證文之事	戊二月		2		對馬屋利助→宮内伊兵衛	24.4×21.3	1	破損
A32-0	借用證文巻通 (包紙)						25.5×11.9	1	
A32-1	借用申錢札之事	天保十三寅年十二月	1842	12		二神与太郎→宮内弥五郎	15.8×30.5	1	
A33	覚	十二月廿三日		12	23	出海和助→宮内五郎	15.8×30.5	1	
A34-0	借用證文						34.5×25.0	1	
A34-1	覚	文政十丁亥二月	1827	2		岡文四郎→宮内才右衛門 内伊兵衛	25.0×34.5	1	
A35	(書状)	十二月廿五日		12	25	□□宗八→宮内伊兵衛	15.9×41.8	1	
A36-0	請取巻通					三谷屋丈七	27.3×21.8	1	
A36-1	覚	寅十二月十八日		12	18	三谷屋丈七→宮内伊兵衛	27.3×17.2	1	
A37-0	請状一札					上三谷村吉-五郎	24.5×13.3	1	
A37-1	奉公人請状之事	文化十三丙子十二月	1816	12		奉公人猶治 請人吉五郎→宮 内伊兵衛	24.6×29.8	1	

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 曆	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
A38-0	一札 (包紙)						27.8×21.0	1	「文化五戊辰A-中
A38-1	一札之事	文化五戊辰八月	1808	8		中村組頭重五郎 同村庄屋武 知八郎→灘町宮内伊兵衛	25.0×29.2	1	
A39	借用證文之事	享和三癸亥年十二月	1803	12		借用主出朔村三郎右衛門 請 人同村宗右衛門→灘屋伊兵衛	32.4×37.6	1	
A40-0	天口 (岸?) 算用書手紙入 (包紙)	辰八月三日		8	3		22.0×16.3	1	
A40-1	(天口 (岸) 算用書手紙)	八月三日		8	3	天岸升安→宮内伊兵衛	15.8×102.5	1	
A41	(書簡)	二月四日		2	4	灘屋小三郎→宮内吉十郎	16.1×42.4	1	
A42-0	宮内丈左衛門江口入之節之 佐伯よりそへ證文入 (包 紙)						25.0×27.0	1	
A42-1	覚	戊寅十二月		12		佐伯勝太郎→宮内伊兵衛	24.9×19.7	1	
A43-0	一札 (包紙)					今田屋仁兵衛	25.3×33.8	1	
A43-1	覚	文化十四丁丑年六月	1817	6		今田屋仁兵衛→宮内伊兵衛	25.3×34.1	1	
A44	銀札式貫目						16.1×7.1	1	

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
A45-0	證文壹通 (包紙)						24.8×11.4	1	
A45-1	借用申錢札之事	天保十三寅年六月	1842	6		東余戸村庄屋二神与太郎同村 組頭恵次同同惣八 同同重左 衛門	25.0×22.4	1	
A46	覚	十二月廿五日		12	25	仲田和助→宮内麻五郎	15.3×15.3	1	
A47-0	(包紙)						24.9×16.5	1	
A47-1	覚	酉七月		7		次郎→宮内伊兵衛	15.6×14.6	1	
A48-0	丑之年 町春越かし付灘屋 孫右衛門より請取入 (包 紙)					灘屋孫右衛門	25.4×16.8	1	
A48-1	覚	十二月廿六日		12	26	灘屋孫右衛門→宮内伊兵衛	15.4×14.8	1	
A49-0	一札 (包紙)					吾川屋理輔	25.1×20.6	1	
A49-1	覚	弘化二乙巳年五月	1845	5		吾川屋理助→宮内麻五郎	25.1×25.5	1	
A50-0	借用證文一通 (包紙)						34.2×25.0	1	
A50-1	覚	文政五壬午十二月	1822	12		借主為治郎他六人→宮内伊兵 衛	25.0×34.6	1	

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 曆	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
A51-0	一札 (包紙)					油卯	34.4×24.6	1	
A51-1	借用證文之事	文政二己卯七月	1820	7		借主油屋卯右衛門 請人辻屋和助→宮内伊兵衛	24.6×34.8	1	
A52-0	借用證文巻通 (包紙)						34.5×24.6	1	
A52-1	借用證文之事	文政七甲申六月	1824	6		借主灘屋勝五郎 加判灘屋孫右衛門→宮内伊兵衛	24.7×28.1	1	
A53-0	證文手形入 (包紙)					今田屋仁兵衛	26.6×16.1	1	
A53-1	覚〔借用証文〕	文化五戊辰七月	1808	7		借主た田屋仁兵衛 請人□野屋真太郎→宮内伊兵衛	24.6×48.5	1	
A54-0	借り證文						24.8×34.5	1	
A54-1	借用證文之事	文政十三庚寅五月十七日	1830	5	17	灘屋房助、同加判忠右衛門→宮内伊兵衛	25.4×25.5	1	
A55	〔銀子受取覚〕					忠右衛門→仲田□□	15.7×16.9	1	
A56	借用證文之事	文政十一年子四月	1828	4		借主西谷屋直吉、加判灘屋房助→宮内伊兵衛	25.1×29.8	1	
A57-0	借用證文						34.2×24.8	1	
A57-1	借用證文之事	文政八乙酉年四月	1825	4		借主亀屋七三郎、請人桵屋慶兵衛→宮内伊兵衛	24.8×34.3	1	

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
A58	覚	丁亥二月十五日		2	15	宮内小三郎→宮内善十郎	15.3×21.7	1	
A59-0	〔頼母子講手形包紙〕	〔文政四年〕	1821				25.6×34.0	1	
A59-1-1	〔頼母子講戌当り〕					石村弥大夫	18.7×6.1	1	
A59-1-2	〔頼母子講午当り〕					石村弥大夫	18.5×6.1	1	
A60-0	(書付入) (包紙)						24.2×15.5	1	
A60-1	覚 (白木長持)	未十二月五日		12	5	水口屋与右衛門→宮内屋伊兵衛	15.9×18.8	1	
A61-0	森邑ニ而徳米算用書入 (包紙)					吾川屋勝兵衛	21.3×16.0	1	
A61-1	壬午歳御年貢座	癸未六月		6		森村庄屋永井房右衛門→吾川屋勝蔵	14.6×35.4	1	
A62-1	(断簡) (年貢米内訳)						13.5×39.7	1	A62-1にA62-2～ A62-4が折り込んで あった
A62-2	(断簡) (年貢米内訳)						16.0×14.2	1	A62-1にA62-2～ A62-4が折り込んで あった
A62-3	(断簡) (年貢米内訳)						12.2×34.5	1	A62-1にA62-2～ A62-4が折り込んで あった

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西暦	月	日	作 成	寸法 (cm)	数 量	備 考
A62-4	(断簡) (年貢米内訳)						15.2×32.4	1	A62-1にA62-2～ A62-4が折り込んで あった
A63-0	京都泉屋惣助殿預り 巻通 (包紙)					□□	23.0×16.1	1	
A63-1	覚〔過分預り銀返金〕	丑八月廿六日		8	26	泉村五兵衛宗□→灘屋伊兵衛	16.5×19.0	1	
A64-0	借用證文 (包紙)					上吾川村	34.9×24.6	1	「子御藏米式十六石七 斗六升来り 十一月切」 と朱書
A64-1	借用證文之事	文化十二乙亥年十二月	1815	12		上吾川村組頭六兵衛 同村庄 屋文右衛門→宮内伊兵衛	24.7×34.9	1	
A65	記〔利金など〕						20.5×28.0	1	
A66-0	賣眷證文 (包紙)					宮内伊兵衛	33.2×28.6	1	
A66-1	賣眷證文之事	文化八辛未年十二月	1811	12		謨主宮内伊兵衛→宮内弥三右 衛門	28.8×43.1	1	文書末に「油屋佐右衛 門灘屋与三右衛門灘屋 孫右衛門」の署名あり
A67-0	扣印永代伊勢講證文在中 (包紙)						44.9×17.5	1	
A67-1	講證文之事	文化八辛未年十二月	1811	12		上野村伊豫木屋幸七→灘町伊 勢松世話人宮内伊兵衛	36.7× 27.0+36.3	1	続紙2枚、印あり、組 頭・庄屋の裏書あり
A68-0	借用證文一 (包紙)					名田屋左吉	25.0×17.1	1	朱書あり

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
A68-1	覚	己巳八月晦日		8	31	名田屋左吉 加判宮内弥三右衛門→宮内伊兵衛	25.0×23.9	1	印あり
A69-0	借用申錢證文 (包紙)					新谷方年番宮内丈左衛門	40.1×27.1	1	朱書あり
A69-1	借用證文之事	文化十三丙子年十二月	1816	12		年番麻生村庄屋宮内丈左衛門 他一名→宮内伊兵衛	29.3×37.2	1	印あり
A70-0	質入證文 (包紙)						25.5×14.4	1	
A70-1	覚	文化十四寅十二月	1817	12		借主本部村利右衛門他一名→ 御連中	25.2×34.3	1	印あり
A71-0	(包紙)						40.1×27.0	1	
A71-1	借用證文之事	寛政十二庚申十二月	1800	12		借主上野村伴蔵→松前屋伊勢 松灘屋伊兵衛	27.0×39.8	1	印あり、裏書あり
A72	(表間口…)						16.3×10.1	1	虫食あり
A73-0	預一枚					なたや孫右衛門	24.7×9.8	1	封紙
A73-1	〔借用證文〕	亥十二月卅日		12	30	灘屋孫右衛門	16.9×5.8+3.1	1	続紙、印あり
A74	書状 (宮内浅五郎の祖父死 逝につき藩から銀を下賜さ れる旨)	寅九月		9		下井澤右衛門→三瀬左平次	16.1×37.2+ 43.4+19.6	1	切紙、続紙

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
A75-0	五百木屋伝蔵手形					なた喜渡カ り	14.1+8.7×15.3	1	封紙、続紙
A75-1	覚	癸酉十二月廿九日		12	29	伊予木屋傳蔵→灘屋喜平治	17.7×20.2	1	印あり
A75-2	覚	酉十二月卅一日		12	31	なだ屋喜平次→宮内伊兵衛	16.0×14.8+1.0	1	続紙2枚、印あり
A76-0	借用證文（包紙）						34.5×26.4	1	
A76-1	借用證文之事	文政十三庚寅五月	1830	5		借主灘屋房助 加判同忠右衛 門→宮内伊兵衛	25.5×34.5	1	印あり、添書あり
A77-0	證文一札					宮内弥三右衛門	34.5×24.8	1	封紙、虫食あり
A77-1	證文一札之事	文政十三庚寅年十二月	1829	12		宮内弥三右衛門他一名→宮内 伊兵衛他二名	25.0×34.5	1	印あり
A78-0	借用證文					岡文四郎	33.8×24.8	1	封紙
A78-1	借用手形之事	丙戌四月十五日		4	15	岡文四郎→宮内伊兵衛	24.8×24.2	1	印あり、割印あり
A79-0	借用證文						34.6×25.3	1	封紙
A79-1	借用證文之事	文政七甲申十二月日	1824	12		なたや勝五郎他六名→宮内伊 兵衛	24.2×34.3	1	印あり
A80-0	證文入					なたや与兵衛	34.4×24.2	1	封紙、朱書あり

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
A80-1	借用證文之事	文化二乙丑七月	1805	7		借主なたや与兵衛 請人灘屋 弥三右衛門→灘屋伊兵衛	24.8×34.4	1	印あり
A80-2	借用添證文之事	文化二乙庚年七月	1805	7		請人灘屋弥三右衛門→灘屋伊 兵衛	24.9×34.5	1	印あり
A81-0	手形巻通 (包紙)						34.5×25.0	1	
A81-1	借用手形之事	文化十五丁寅四月	1818	4		豊川友五郎 岡文四郎→宮内 伊兵衛	25.0×26.1	1	印あり、割印あり、虫 食あり
A81-2	書状 [借用添状]	四月廿五日		4	25	岡文四郎→宮内伊兵衛	16.5× (19.2+15.1)	1	続紙2枚、虫食あり
A82-0	質入證文巻通					湊町三谷屋卯左衛門	34.4×24.9	1	虫食あり、封紙、朱書 あり
A82-1	油道具質入證文之事	文化五戌辰十二月	1808	12		借用三谷屋卯左衛門 請人三 谷屋治郎兵衛→灘屋源兵衛	25.2×34.2	1	印あり、虫食あり
A83-0	借用證文					灘屋治右衛門	34.5×24.7	1	封紙
A83-1	借用證文之事	文政元戌寅十二月	1817	12		借用主灘屋治右衛門 加判宮 内才右衛門→宮内伊兵衛	24.7×34.5	1	印あり
A84-0	借用證文					三好屋治助	34.5×25.2	1	
A84-1	借用證文之事	文政七甲申歳七月十三日	1824	7	13	三好屋治助→宮内伊兵衛	25.3×28.4	1	印あり
A85-1	(表題)						8.5×5.0	1	「伊勢宮内講銭弥三右 衛門江預ヶ證文」

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
A85-2-0	借用證文						34.5×25.3	1	封紙
A85-2-1	借用證文之事	文政二己卯閏四月	1821	4		借主宮内弥三右衛門 加判 五百木屋幸七→宮内伊兵衛	25.4×34.5	1	印あり
A86-1-0	證文一通						34.3×25.3	1	封紙
A86-1-1	借用證文之事	文化四丁卯年五月	1807	5		高砂屋善右衛門→宮内伊兵衛	25.1×30.6	1	印あり
A86-2-0	證文一通					高砂屋傳吉	40.3×27.7	1	封紙、虫食あり
A86-2-1	借用證文之事	文化四丁卯年正月	1807	1		借主高砂屋傳吉 加判高砂屋 善右衛門→宮内伊兵衛 つゝ らや和助	27.7×35.7	1	印あり
A87-0	借用證文					上吾川村岩右衛門	34.6×25.0	1	封紙
A87-1	覚	文政十一戌子年十二月	1828	12		借主上吾川村岩右衛門 加判 同村忠兵衛→宮内伊兵衛	25.2×29.9	1	印あり
B02-01-01	〔金子借用之事〕	十一月廿八日		11	28	□清作→宮内兄上様	15.6×38.6	1	切紙、B02-01-01～ B02-01-04-01紐で一 括
B02-01-02- 00	借用證文					いなり伊助	25.0×16.3	1	封紙 (B02-01-02-01 を包む)、B02-01-01 ～B02-01-04-01紐で 一括

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西暦	月	日	作 成	寸法 (cm)	数 量	備 考
B02-01-02-01	借用證文之事					借主稲荷村伊助 受人幸太郎 →宮内小三郎様	24.9×18.5	1	印あり、B02-01-01～ B02-01-04-01紐で一括
B02-01-03	[借用証文之事]	十一 (二カ) 廿九日			29		24.9×24.3	1	切紙、BB02-01-01～ B02-01-04-01紐で一括
B02-01-04-00	證文一通					宮内清作	34.6×24.8	1	封紙 (B02-01-04-01 を包む)、B02-01-01 ～B02-01-04-01紐で 一括
B02-01-04-01	拝借證文之事						24.7×34.5	1	B02-01-01～B02-01- 04-01紐で一括
B02-02-00	借用證文					神崎寅之助	34.7×25.0	1	封紙 (B02-02-00を包 む)
B02-02-01	借用證文之事	未十二月卅一日		12	31	借主神崎や寅之助 加判□宗 助→宮内小三郎様	25.1×24.8	1	印あり
B02-03-00	證文一通					八倉屋秀造	34.2×24.8	1	封紙 (B02-03-01を包 む)
B02-03-01	覚	嘉永四辛亥四月	1851	4		八倉屋秀造 請人福住屋善兵 衛→灘屋小十郎殿御世話方宮 内小三郎殿	24.9×34.3	1	印あり、虫食あり
B02-04-00	手形巻通入					倉橋萬吉	28.5×22.9	1	封紙 (B02-04-01を包 む)
B02-04-01	借用證文之事	安政六年未正月	1859	1		藝州倉橋嶋松原村借主万吉 同請人吉蔵 同金作→豫州郡 中宮内小三郎	32.4×45.6	1	裏書あり、印あり

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
B02-05-00	借用證文巻通					糺屋清輔	34.5×25.1	1	封紙 (B02-05-01を包む)
B02-05-01	借用證文之事	明治二己巳四月	1864	4		糺屋清助→西宮内様	25.0×34.3	1	
B02-06	借用證文	午二月		2		八倉屋秀造→宮内小三郎様	25.0×34.2	1	印あり、切紙
B02-07-00	借用證文一					福くや甚吉	34.8×25.0	1	封紙 (B02-07-01を包む)
B02-07-01	借用證文之事					借主福くや甚吉 加判福くや 弥助 同つゝら屋幸治→宮内 小三郎様	25.4×34.5	1	印あり、貼札あり
B02-08-00	(封紙)						27.0×22.0	1	封紙 (B02-08-01を包む)、書き込み「甚」
B02-08-01	覚	申正月六日		1	6	甚右衛門→宮内小三郎殿	22.1×21.8	1	印あり
B02-09-00	証文巻通					稻荷村虎五郎	34.2×25.0	1	封紙 (B02-09-01を包む)
B02-09-01	借用証文之事	安政七申五月日	1860	5		借主虎五郎請人平七→宮内小 三郎殿	25.0×34.1	1	印あり
B02-10-1	〔銀子融通願之事〕	辰七月十三日		7	13	灘屋惣五郎→宮内小三郎様	16.5×28.0	1	切紙 (B02-10-1～B-2-10-4紐で一括)
B02-10-2	目録	丑極月十九日		12	19	河内助三郎→宮内才右衛門様 宮内小三郎様	16.1×42.9	1	印あり、切紙 (B-2-10-1～B02-10-4紐で一括)

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
B02-10-3	覚	菊月五日		9	5	市場屋与次右衛門→宮内小三郎様	15.6×19.7	1	裏書あり (B02-10-1～B02-10-4紐で一括)
B02-10-4	覚	丑ノ十二月		12		石河寿太郎→宮内小三郎様	16.1×13.6	1	印あり (B02-10-1～B02-10-4紐で一括)
B02-11-0	船賣渡手形入						34.7×24.9	1	封紙 (B02-11-1を包む)
B02-11-1	船賣拝書一札之事	慶応三卯七月朔日	1867	7	1	高松船賣主網屋太兵衛証人徳納屋国蔵同船大工小豆島七兵衛→伊予次左衛門	24.9×31.8	1	
B02-12	覚	七月二日		7	2	中川屋傳四郎→米屋次左衛門様	24.9×34.5	1	印あり
B02-13-0	証文入					二神	27.6×19.8	1	封紙 (B02-13-1を包む)
B02-13-1	借用申錢札之事	酉十二月		12		二神弥右衛門→宮内小三郎殿	27.8×21.7	1	印あり
B02-14-0	賣眷証文					灘屋平治兵衛	34.8×24.8	1	封紙 (B02-14-1を包む)
B02-14-1	賣眷証文之事	安政己未年十二月	1859	12		讀主灘屋平治兵衛→宮内小三郎殿	24.5×49.1	1	添書あり、裏書あり
B02-15-0	讀証文沓通					宮内小三郎	34.2×24.1	1	封紙 (B02-15-1を包む)
B02-15-1	賣眷証文之事	天保十四癸卯歳十二月	1843	12		宮内小三郎→灘屋平A-B-cd殿	25.0×66.5	1	添書あり、印あり、虫食いあり

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
B02-16-0	借用証文					三谷屋藤吉	25.2×17.4	1	封紙 (B02-16-1を包む)
B02-16-1	借用証文之事	嘉永七甲寅年四月	1854	4		借主三谷屋藤吉他三名→宮内小三郎様	25.2×34.3	1	印あり
B02-17-0	借用証文巻通					吾河屋用助	34.2×25.0	1	封紙
B02-17-1	借用証文事	慶応三丁卯歳正月	1867	1		借用主吾河屋用助受人和泉屋寅五郎→宮内小三郎	25.2×34.4	1	堅紙
B02-18-0	甲子年借用証文	甲子年				糺屋清助	34.5×25.3	1	封紙
B02-18-1	借用証文之事	元治元甲子八月	1864	8		借主糺屋清助加判米屋彦七同 上田屋九兵衛→宮内旦那	25.4×34.6	1	堅紙
B02-19-0	借家証文					入江屋多三郎	35.0×25.1	1	封紙
B02-19-1	借家証文之事	嘉永七甲寅歳九月	1854	9		借家主入江屋多三郎請人池田屋留蔵→宮内小三郎	25.7×35.2	1	堅紙
B02-20-0	借用証文巻通					糺屋清助	34.5×25.1	1	封紙
B02-20-1	借用証文之事	慶応二乙寅四月	1866	4		糺谷清助→西宮内旦那	25.1×34.5	1	堅紙
B02-21-0	借用証文巻通					森村伊勢五郎	34.0×24.8	1	封紙
B02-21-1	借用証文之事	慶応三丁卯十二月	1867	12		森村伊勢五郎→宮内小三郎	25.0×34.2	1	堅紙

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西暦	月	日	作 成	寸法 (cm)	数 量	備 考
B02-22	覚	五月 廿A-B-		5		灘屋惣五郎→宮内小右衛門	6. 2×17. 7	1	堅紙、続紙2枚
B02-23	書簡 (借用願いにつき)	四月 十二日		4	12	仙波衾之進→宮内小三郎清助	25. 0×34. 4	1	堅紙
B02-24	証文一札之事	辰六月 九日		6	9	伊与屋豊助	25. 2×34. 5	1	堅紙
B02-25-0	御請取一札					左藤新蔵	34. 6×24. 8	1	封紙
B02-25-1	頼母子銀請取証文之事	元治元甲子歳四月	1864	4		元取左藤新蔵世話人城多→宮内旦那	24. 9×34. 7	1	堅紙
B02-26-0	借用証文巻通					鶴湊	34. 5×25. 1	1	封紙
B02-26-1	借用証文之事	慶応二丙寅年七月	1866	7		借主鶴A-B-加判cd屋熊吉→宮内小三郎	25. 3×34. 6	1	堅紙
B02-27	(宮内) 小左衛門書状	十一月 廿六日		11	26	小左衛門→小平次小三郎	15. 9×49. 1	1	堅紙、続紙2枚
B02-28-0	借用証文巻通					米湊屋熊吉	34. 2×24. 8	1	封紙
B02-28-1	借用証文之事	慶応四戊辰年正月	1868	1		借主米湊屋熊吉請人黒田屋吉五郎→宮内小三郎	25. 1×34. 4	1	堅紙
B02-29-0	証文					灘屋平次兵衛	34. 3×24. 7	1	
B02-29-1	覚	明治二己巳八月	1869	8		灘屋平次兵衛→宮内小三郎	25. 0×50. 7	1	続紙2枚

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
B02-30-0	借用証文巻通					森村重-右衛門	34.6×24.5	1	封紙
B02-30-1	借用証文之事	文久四甲子二月	1864	2		借主重-右衛門受人利八→宮内小三郎	24.6×34.6	1	豎紙
B02-31-0	借用証文					上野屋嘉兵衛	34.5×25.0	1	封紙 (B02-31-0～ B02-32-1まで紐で一括)
B02-31-1	借用証文之事	萬延元庚申十二月	1860	12		借主湊町上野屋嘉兵衛請人黒田や三郎兵衛→宮内小三郎	24.7×34.5	1	豎紙 (B02-31-0～ B02-32-1まで紐で一括)
B02-32-0	借用証文					上野屋嘉兵衛	34.0×24.5	1	封紙 (B02-31-0～ B02-32-1まで紐で一括)
B02-32-1	借用証文之事	萬延二辛酉四月	1861	4		借主上野屋嘉兵衛連中請人住吉屋瀧治郎同請人吾川屋重藏→宮内小三郎	24.9×34.4	1	豎紙 (B02-31-0～ B02-32-1まで紐で一括)
B02-33-0	借用証文巻通					中山村高A-B-cd寅藏	34.8×25.0	1	封紙
B02-33-1	借用証文之事	文久二辛戌正月	1862	1		借用主寅藏引合弥太郎五人頭徳五郎	25.5×34.5	1	豎紙
B02-34	借用証文之事	安政四年丁巳二月	1857	2		借用主宮内小右衛門加判宮内小三郎同A-B-野路太郎→宮内小三郎	25.2×34.2	1	豎紙
B02-35-0	已冬借用証文					糺屋清助	34.5×24.9	1	封紙

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
B02-35-1	質入借用証文之事	安政四丁巳年十二月二日	1857	12	2	借用主麴屋清助加判三しまや 九平→宮内小三郎	25.2×34.4	1	竪紙
B02-36-0	借用証文					湊町平岡屋才三郎	24.5×17.0	1	封紙
B02-36-1	借用証文之事	安政五戊午年十二月	1858	12		湊町借主平岡屋才三郎受人清 助→宮内小三郎	24.6×32.2	1	竪紙、続紙2枚
B03-1		十七年二月十日		2	10	宮内小三郎→兵頭正鶴	16.4×50.2	1	続紙2枚
B03-2-0	要用上四通					日野真常→宮内小三郎	25.1×34.3	1	
B03-2-1		五月五日		5	5	日野真常→宮内小三郎	25.1×34.6	1	
B03-3-0		四月十七日		4	17	武田弥平→宮内小三郎 宮内 小平治	25.4×24.7	1	
B03-3-1	[書翰]	四月十七日		4	17	武田弥平→宮内小三郎 宮内 小平治	15.0×181.7	1	続紙6枚
B03-4-0						日野真常→宮内小三郎	24.4×34.3	1	
B03-4-1	[書翰]	八月		8		日野真常→宮内小三郎	15.8×138.3	1	続紙3枚
B03-5-0						日野真常→宮内小三郎	24.9×34.2	1	
B03-5-1	[書翰]	八月十三日		8	13	日野真常→宮内小三郎	27.7×40.3	1	

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
B03-6-0						武田弥平→	24.0×16.2	1	
B03-6-1	記〔金子受取〕	辰八月十七日		8	17	武一勘二→宮内小三郎	25.4×34.3	1	
B03-7-0		卯月十一日		4	11	日野真常→宮内小三郎	24.0×33.5	1	
B03-7-1	〔書翰〕	七月十四日		7	14	宮内小三郎→日野真常	16.1×63.3	1	続紙2枚
B03-7-2	〔書翰〕	卯月十二日		4	12	日野真常→宮内小三郎	15.6×96.4	1	続紙3枚
B03-8-0						日野真常→宮内小三郎	25.0×33.7	1	
B03-8-1	〔書翰〕	五月廿一日		5	21	日野真常→宮内小三郎	23.9×34.5	1	
B03-9	□□軍□へ□入金内入指引 書	酉七月		7		幾田義芳	16.3×52.6	1	続紙2枚
B03-10	日野氏会計書写	〔明治九年〕	1876				15.0×31.9	1	
B03-11-1	記〔金子受取〕	五月廿三日		5	23	日野真常→宮内小三郎 武田 弥平	15.6×15.2	1	
B03-11-2	記〔金子受取〕	□月廿八日			28	日野真常→武田弥平	15.6×15.4	1	
B04-0	証文一札						34.3×25.1	1	

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
B04-1	借用証文之事	酉七月		7		借主三谷屋政吉請人吾川屋直 右衛門→宮内伊兵衛	16.1×30.0	1	続紙2枚
B04-2	借用証文之事	丁酉天保八年五月	1837	5		借用三谷屋政吉請人吾川屋要 吉→宮内伊兵衛	25.1×29.8	1	印あり
B05-0	(封紙) 御米請取					源七代丈七	24.8×17.3	1	
B05-1	請取申覚	卯十二月日		12		源七代丈七→宮内伊兵衛	16.5×17.6	1	印あり
B06-0	頼母子証文一通	A-B-十一月		11		米屋弥治郎	23.9×14.9	1	
B06-1	頼母子証文之事	文化十一甲戌十一月日	1814	11		取主米屋弥治郎請人大瀬屋金 助→頼母志御連中江	24.0×57.2	1	添書あり、割印あり、 続紙3枚
B07-01-0	御家借用証文一通					直吉	40.6×27.4	1	封紙
B07-01-1	御家借用証文之事	文化拾一甲戌三月十五日	1814	3	15	西谷屋直吉・印請人出来屋庄平 ・印→宮内伊兵衛	127.6×32.7	1	堅紙
B07-02-0	壺通					山よりや九郎兵衛	27.1×15.9	1	封紙
B07-02-1	借用証文之事	文化十五戊寅正月	1818	1		借主山寄屋九郎兵衛・印受人出 来屋庄平・印→宮内伊兵衛	27.2×20.9	1	堅紙
B07-03-0	借用証文					宮内弥三右衛門	34.3×24.8	1	封紙
B07-03-1	覚(金銭借用関係)	丁亥四月		4		宮内弥三右衛門・印→灘屋常治	25.0×34.9	1	堅紙

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 曆	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
B07-03-2	借用証文之事	丁亥四月五日		4	5	借主宮内弥三右衛門・印加判灘 屋常治・印→下三谷村彦市	24.9×34.8	1	
B07-04-0	証文巻通						25.4×21.7	1	
B07-05-0	岡本三郎右衛門殿へ銀札之 証文入						25.1×15.5	1	
B07-05-1	覚（金銭借用関係）	丁酉七月十四日		7	14	岡本三郎右衛門綱政（花押） →宮内吉十郎	17.4×25.0	1	1 竪紙
B07-06-0	預巻枚入本町	酉三月		3			24.5×17.2	1	1 封紙、朱書入
B07-06-1	覚（七五銭預書）	庚申十二月廿八日		12	28	灘屋与三右衛門・印灘屋佐右衛 門・印灘屋孫右衛門・印→灘屋 伊兵衛	16.2×23.3	1	1 竪紙
B07-07-0	借用証文					曾根梅三郎、曾根治圓	34.7×25.1	1	
B07-07-1	借用証文之事	明治四辛未年七月	1871	7		曾根梅三郎、曾根治圓加判宮 内四三二→宮内小三郎	25.2×34.6	1	
B07-08-0	借用手形					熊埜	25.0×17.2	1	
B07-08-1	借用手形之事	未ノ八月十六日		8	16	熊野秋一郎→宮内小三郎	17.3×24.9	1	
B07-09-0	借用証文巻通					神崎屋新蔵・灘屋五左衛門	34.6×24.7	1	

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 曆	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
B07-09-1	借用証文之事	明治貳巳巳年十二月	1869	12		借主神崎屋新蔵・加判灘屋五左衛門・同和泉屋虎吉→宮内小三郎	25.1×34.3	1	
B07-10-0	借用証文					松村芳五郎	34.3×24.8	1	
B07-10-1	借用証文之事	明治二己巳十二月	1869	12		森村浜借用主芳五郎・同村上銀受人忠次→宮内小三郎	25.0×34.3	1	
B07-11-1	借用証文之事	明治貳己巳年十二月	1869	12		借主神崎屋新蔵・加判宮内小三郎→米湊徳蔵	24.9×34.4	1	
E043	乙丑田畑宛定取立帳	慶応元年十一月	1865	11		宮内小三郎	34.9×13.2	1	横帳24丁(墨付23丁)
E044	甲子歳田畑宛定取立帳	元治元年十一月	1864	11		宮内小三郎	34.2×12.6	1	横帳34丁(墨付31丁)
E046	記録	嘉永六癸丑年四月廿三日・明治三庚子四月九日	1853・ 1870	4・4	23・9	宮内孝之	45.4×17.2	1	横帳14丁(墨付)10丁
E047	御歎並御悔書扣	天保九年戊戌	1838			宮内小三郎孝之	42.4×16.2	1	横帳24丁(墨付18丁)、貼紙1枚
E048	戊辰願書證文扣	慶応四年正月吉日	1869	1		宮内小三郎	25.2×17.2	1	縦帳35丁(墨付33丁)
E049	乙丑願書證文控	慶応元年正月吉日	1865	1		宮内小三郎	25.4×17.4	1	縦帳37丁(墨付35丁)
E053	柳原明細記	文久二壬戌年六月	1862	6			24.3×35+35.2+34.8	1	続紙

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西暦	月	日	作 成	寸法 (cm)	数 量	備 考
E054	建物譲後證文之事	明治十六年六月十三日	1883	6	13	宮内本三郎→宮内小三郎	27.5×20.7	1	豎帳3丁 (墨付3丁)
E100	願書調印扣	安政五戊午年三月	1858	3		宮内氏	25.2×17.4	1	豎長31丁 (墨付25丁)
E101	丙寅願書證文扣	慶応二年正月吉日	1866	1		宮内小三郎	25.2×17.4	1	豎帳34丁 (墨付32丁)
E102	癸亥願書調印扣	文久三年正月吉日	1863	1		宮内小三郎	25.2×17.4	1	豎帳27丁 (墨付24丁)
E103	丁卯願書證文扣	慶応三年正月吉日	1867	1		宮内小三郎	25.2×17.4	1	豎帳23丁 (墨付21丁)
E104	頼母子帳	嘉永元戊申年～安政二乙卯年九月廿三日	1848～1855	9	23	宮内小三郎孝之	24.8×17.4	1	豎帳14丁 (墨付11丁)、貼紙1枚
E106	願書調印扣	文久二壬戌年正月	1862	1		宮内姓	25.2×17.4	1	豎帳25丁 (墨付22丁)
E107	甲子願書證文扣	文久四年正月吉日	1864	1		宮内小三郎	25.2×17.4	1	豎帳23丁 (墨付20丁)
I01-2	公儀御役人為船御改御廻浦ニ付諸事用扣	天保十貳辛丑歳八月吉辰	1841	8		灘町	12.8×35.1	1	横帳6丁
M01	大洲藩ご内分 (?) 発行宮内小三郎宛銀札20貫目借用および6貫目明細書						17.1×22.4	1	
M02	大洲藩人見次郎左衛門山中三太夫連署書状 (宮内小三郎宛)	十月廿日		10	20	人見次郎左衛門、山中三太夫→宮内小三郎	16.5×20.0	1	

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
M03	大洲藩郡中郡代加藤十蔵・ 取次役後藤平五郎連署覚書	寛政十三年酉年二月十二 日	1794	2	12	當所御郡代加藤十兵衛→御取 締役後藤平五郎	15.9×20.6	1	
M04	十二月廿五日付宮内小三郎 龍沢寺口入正銀百貫目覚書	十二月廿五日		12	25	宮内小三郎	15.6×42.1	1	
M05	宮内幸治郎宛大洲藩三瀬左 平次七月二日役宅来訪依頼 書	七月朔日		7	1	三瀬佐平治	11.1×28.3	1	
M06	御内分へ指上銀につき覚書 雛形 (滝甚兵衛・中村真 人・垂井秀治・町田傳左衛 門・林三郎左衛門・村上要 人・西谷市郎左衛門・松本 半平・堀尾四郎治・永田権 左衛門・加藤傳左衛門・奥 書加藤斎宮)					瀧甚兵衛 (他10名連名) →何 野何兵衛	11.4×76.0	1	続紙3枚
M07	覚 (一、銀札一貫目也)	申五月廿一日		5	21	人見次郎左衛門→宮内小三郎	16.5×12.3	1	続紙2枚
M08	覚 (一、銀札二貫目也)	申五月十日		5	10	人見次郎左衛門→宮内小三郎	16.3×11.4	1	
M09	覚 (一、銀札四貫目也)	申五月廿九日		5	29	山中三太夫→宮内小三郎	15.8×11.6	1	続紙2枚
M10	宮内小市郎殿、人見次郎左 衛門・山中三太夫	十一月廿日		11	20	人見次郎左衛門、山中三太夫→ 宮内小三郎	16.3×15.1	1	
M11	口演	乙酉十月		10		小野藤八→宮内小三郎	17.9×109.3	1	続紙3枚

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西暦	月	日	作 成	寸法 (cm)	数 量	備 考
M12	覚 (一銀札受け取り)	申ノ五月三日		5	3	人見次郎左衛門→宮内小三郎	16.5×11.4	1	続紙2枚
M13	覚 (一、銀札廿五貫目)					→宮内小三郎	17.2×14.3	1	
M14	宮内小三郎 一、銀四貫目						17.5×15.2	1	御用金額札か
M15	四貫五百目 宮内小三郎						18.6×7.5	1	御用金額札か
M16	銀四拾貫目 宮内小三郎						17.4×7.8	1	御用金額札か
M17-0	御用金上納覚書	文久三癸亥年五月十三日	1863	5	13		23.9×17.3	1	封紙
M17-1	銀札貳拾五貫目 (文久三年御用金額札)						18.0×7.8	1	
M18-0	寸志銀請取入						23.5×16.5	1	包紙 (M21～M32中身漏れ力)
M18-1	覚 (一、正銀八貫目)					→宮内小三郎	17.3×10.8	1	
M19	(紙地払いに付、申渡)	文化二乙丑年二月	1805	2		加藤十蔵→弓削徳介	17.0× (38.7+40.9)	1	続紙2枚
M20	覚 (一、銀札百目也)	未ノ二月廿二日		2	22	人見次郎左衛門→宮内小三郎	16.7× (11.5+2.9)	1	続紙2枚
M21	覚 (一、百三拾目寸志)	未三月廿一日		3	21	山中三太夫→宮内小三郎	16.7×10.8	1	

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西曆	月	日	作 成	寸法 (cm)	数 量	備 考
M22	覚 (一、銀札六拾目也)					人見次郎左衛門→宮内小三郎	16.5×8.6	1	続紙2枚
M23	覚 (一、銀札三百目)	未七月廿五日		7	25	山中三太夫→宮内小三郎	16.5×13.8	1	
M24	覚 (一、銀札百目也)	未九月十三日		9	13	人見次郎左衛門→宮内小三郎	16.3×13.0	1	
M25	覚 (一、銀札五百目也)	未十一月廿日		11	20	人見次郎左衛門→宮内小三郎	16.3× (4.8+ 8.1)	1	続紙2枚
M26	覚 (一、銀札五百目也)	未ノ極月廿一日		12	21	人見次郎左衛門→宮内小三郎	16.6×13.2	1	
M27	覚 (一、九百目也)	申正月廿七日		1	27	人見次郎左衛門→宮内小三郎	16.6×11.7	1	
M28	覚 (一、銀札六百六拾目也)	申三月廿四日		3	24	人見次郎左衛門→宮内小三郎	16.5×13.5	1	
M29	覚 (一、銀札四百目)	二月廿七日		2	27	山中三太夫→宮内小三郎	16.2×10.9	1	
M30	覚 (一、老費百五拾目)	午十一月廿二日		11	22	山中三太夫→宮内小三郎	16.7×10.5	1	
M31	覚 (一、三百匁)	十二月廿五日		12	25	人見次郎左衛門→宮内小三郎	16.8×10.0 (16.5+0.8)	1	
M32	覚 (一、銀札六百目也)	午十月廿五日		10	25	人見次郎左衛門→宮内小三郎	16.5×11.7	1	
M33	覚 (銀受取書)	丙子三月廿九日		3	29	宮内小三郎→灘屋与三左衛門	16.1×27.0	1	

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
M34	覚 (一、三貫三百目)	享保十乙巳年三月四日	1725	3	4	灘屋十左衛門→なたや小左衛門	16.4×18.8	1	
M35-0							42.3×32.0	1	封紙
M35-1	小三郎江認置覚	辛酉年六月吉日		6		通孝 (花押)	32.2×42.9	1	
M36	灘町の由来	(天和二年)	1682				16.0× (38.0 +43.2+43.3 +43.7+43.6+ 34.5)	1	続紙6枚
M37	乙丑歳御年貢算用座写	寅六月		6		本郡村庄屋片岡仙六→宮内小三郎	16.1× (41.9+ 12.6)	1	続紙2枚
M38	(家督免許状写し)	己卯九月		9		中村貞人・□井清門→宮内邦太郎	16.0×44.0	1	折紙
M39	旧代書類入					宮内小三郎	30.6×20.0	1	封筒
M40	覚 (借用書)	安政四丁巳正月	1857	1		田村久太夫・山本加兵衛・永田権六衛門→宮内小三郎	15.5× (27.3+ 47.7)	1	続紙2枚、覚他に二つあり
M41	書簡 (通達書)	壬辰五月十七日		5	17	三瀬左平次→宮内小三郎・宮内徳之介	16.4×38.4	1	切紙
M42	(覚書)						15.9×8.2	1	
M43	覚 (寸志銀領収書)	申六月七日		6	7	山中三太夫→宮内小市郎	16.4×14.5	1	印鑑あり

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
M44	乙丑歳御年貢算用写	寅六月		6		上吾川村庄屋伴右衛門→灘町 小十郎	13.8×32.5	1	
M45	日記	文化二乙丑年六月廿八日	1805	6	28	宮内小三郎→長師村庄屋杵野 与三右衛門他一名	16.3×24.9	1	
M46	(覚書)						15.8×(12.4 +4.2)	1 続紙2枚	
M47	覚(郷町入用米・証文及び 添証文)	安永七戊戌年十一月	1778	11		奥嶋伝三郎他四名→曾我部与 一左衛門	16.0×(25.5 +16.3)	1 続紙2枚	
M48	(定紋の写し)	嘉永二己酉年九月十五日	1849	9	15	孝之	14.8×10.7	1	
M49	覚(歴代重書写し)	文化元甲子年四月	1804	4		宮内小三郎	32.0×(42.9 +42.3+42.8 +43.0+4.5)	1 続紙5枚	
M50	御歎書						16.0×(12.2 +42.7+ 10.8)	1 続紙3枚	
M51-0	封紙「御用銀受取通」					大西万左衛門・河嶋政左衛 門・青野文四郎→宮内小三郎	26.0×19.0	1	
M51-1	御用銀請取通	未十一月		11		青野文四郎・河嶋政左衛門・ 大西万左衛門	28.9×43.7	1	
M52	議申証文之事	文政九丙戌年九月	1826	9		讓主宮内小三郎→岡文四郎	24.8×34.2	1	
M53-0	封紙						21.8×16.0	1	

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
M53-1	覚 (拝借証文雛形)	三月十三日		3	13		15.7× (7.4+ 41.2+24.5)	1	続紙3枚
M54	包紙「地払御免御書附」					なた町宮内小三郎	24.5×33.9	1	中身不明、M55同封
M55	覚 (拝借銀他諸費用明細)	文化十三丙子歳十二月	1816	12			14.3× (20.0 +42.5+9.7)	1	続紙3枚
M56	覚 (大豆定津指免状)	寅十月五日		10	5	井口金右衛門→大久保清助・ 人見治郎右衛門	15.1× (44.1 +33.9)	1	続紙2枚
M57	壬子御年貢算用写	丑六月		6		上吾川村庄屋曾我部宗左衛門 →灘町小三郎	15.6×22.5	1	
M58	(今川家伝・奸に団他)	天保八年丁酉五月廿九日	1837	5	29		16.0× (32.0 +42.1+ 23.7)	1	続紙3枚
M59	覚 (損毛につき上納免除 願)	文化十三丙子歳七月	1816	7		宮内小三郎→	32.2× (43.2 +16.8)	1	続紙2枚
M60	覚 (宇和島銀札価値減につ き迷惑…)	丙寅八月		8		宮内小三郎→	31.5×43.2	1	貼札①天明七丁未年② 文化十癸酉年七月
M61	書簡 (徳米不作につき …)	八月十四日		8	14	麻生村久平→なた屋小衛門・ 油屋伊右衛門	14.6× (42.3 +25.2)	1	続紙2枚、切紙
M62	書簡 (不作につき…)	八月廿六日		8	26	下吾川村九左衛門→灘町小衛 門	14.4× (37.5 +36.2)	1	続紙2枚
M63	寅年算用写	正徳元年卯十一月五日	1711	11	5	米湊庄や与右衛門→灘町小三 郎	14.5× (29.3 +23.7)	1	続紙2枚

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西暦	月	日	作 成	寸法 (cm)	数 量	備 考
M64	玄蕃様借用請取扣	天明元辛丑年十一月	1781	11		宮内才右衛門 宮内小三郎→ 百済吉蔵	16.6×43.4	1	奥判 岡井金助 菊原 圓助
M65	借用御印形之扣	安永八己亥口月	1779			奥嶋伝三郎 他四名→曾我部 宗左衛門	15.9× (26.8+14.5)	1	
M66	(九条様御用銀について覚 書)	安永七戊戌十一月	1778	11		借主 高橋治兵衛 他四名→ 御用達 木村小兵衛 他三名	15.0× (42.5+ 42.7+4.7)	1	続紙3枚、同種の覚書2 つあり
M67	包紙「御書附類入」						32.0×43.5	1	別筆 大谷村久米之介 とあり
M68-0	包紙					宮内小三郎	28.5×21.5	1	
M68-1	覚 (森村田地についての覚 書)						17.2× (34.8+23.1)	1	
M69-0	包紙						25.5×17.5	1	
M69-1	(三人扶持宛行状)	甲申六月十八日		6	18	→宮内小市郎	31.9×21.2	1	
M70-0	包紙						24.3×17.0	1	
M70-1	口演 (酒造之義…)	十月廿二日		10	22	小野藤八→宮内小三郎	17.9×23.5	1	
M70-2	口演 (酒造之義…)	十月廿二日		10	22	小野藤八→宮内小三郎	16.2× (36.4+10.2)	1	M70-1と同文
M71-0	包紙	文化十一甲戌年十月廿五 日	1814	10	25		25.5×15.8	1	

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
M71-1	書簡	十二月十三日		12	13	米子金作 矢野与兵衛→宮内 小三郎	16.0× (50.8+4.1)	1	統紙2枚
M71-2	書簡	十月廿六日		10	26	岡文四郎→布屋喜五兵衛	16.0× (8.4+ 42.7+11.3)	1	統紙3枚
M71-3	覚 (明細書)	三月廿日		3	20	宮内小三郎	31.8×43.3	1	
M72-1	感状 (十人扶持加増…)	十月		10		→宮内小三郎	31.8×43.2	1	
M72-2	覚 (宮内小三郎定津指免の 事通達書)	寅十月五日		10	5	井口金衛門→大久保清介 人 見治右衛門	31.8×43.3	1	
M72-3	〔覚〕 (拝借銀について)						31.7×43.0	1	
M72-4	「徳永三左衛門他三名連書 状」〔書状〕 (米差上につ き)	十一月廿六日		11	26	徳永三左衛門他三名→灘屋小 右衛門	31.5×42.7	1	
M72-5	覚 (大豆三百石出津御免)	享保十乙巳年正月十三日	1725	1	13	佃小左衛門→灘屋小右衛門	31.7×43.3	1	
M72-6	〔褒状〕 (七人扶持ほか)	辰五月廿六日		5	26	山下与治右衛門他五名→宮内 小市郎	31.8×43.1	1	
M72-7	(三人扶持、名字等の認可 につき覚書) 〔褒状〕 (三 人扶持ほか)	三月七日		3	7	→灘屋小右衛門	31.8×43.1	1	奥書「酉正月十三日 …」
M72-8	覚 (藩財政援助につき褒 状)	十一月		11			31.8×43.1	1	

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西暦	月	日	作 成	寸法 (cm)	数 量	備 考
N01	(干ばつの時の米差し上げ につき家老衆よりの礼状)	十一月廿六日		11	26	徳永三左衛門 佃小左衛門 中川文太夫 友松傳左衛門→ 灘屋小右衛門	17.9×64.9	1	
N02	覚 (大豆三百石出津御免に つき通知)	享保十乙巳年正月十三日	1725	1	13	佃小左衛門→灘屋小右衛門	17.2×31.7	1	
N03-1	覚 (借金引き受けにつき藩 よりの礼状)	二月		2			16.2×80.9	1	
N03-2	(過分の御用相勤めるにつ き扶持方三人分名字免許の 通知)	三月七日		3	7	→灘屋小右衛門	18.4×52.5	1	
N03-3	(去冬容易ならざる御用出 精につき年頭帰城の礼並び に十人扶持加御の通知)	十月		10		→宮内小三郎江	16.9×72.3	1	
N04	覚 (大豆三百石出津を米 百五十石大豆百五十石振替 につき通知)	寅十月五日		10	5	井口金右衛門→大久保清智 人見治郎右衛門	15.8× (39.8+ 45.2+14.2)	1 続紙3枚	
N05	宮内小三郎へ申渡覚	午六月十六日		6	16	神山市郎兵衛 中川善兵衛 戸田勘助 亀山文左衛門→	16.8×65.3	1	
N06	(親小三郎の功績につき息 子小市郎扶持方七人分名字 免許の通知)	辰五月廿六日		5	26	山下与治右衛門 野々村彦左 衛門 亀田文左衛門 林兵右 衛門 村上忠左衛門 矢野佐 右衛門→宮内小市郎	16.8× (43.3+27.2)	1 続紙2枚	
N07	(寸志銀差し上げにつき三 人扶持加増の通知)					→宮内小三郎	17.0×23.3	1	

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西暦	月	日	作 成	寸法 (cm)	数 量	備 考
N08	宮内小三郎の善行により御 家老衆より真綿を頂戴する 通知	十一月		11		→宮内小三郎	17.1× (44.1+28.7)	1	続紙2枚
N09	(小三郎倅寅松への相続を 許す通知)	辛酉年二月		2		垣見弥次兵衛 村上要人 林 嘉膳 加藤十蔵 村上金治→ 宮内小三郎江	18.0× (47.8+24.5)	1	続紙2枚
N10	(御用金出金に対して、褒 美として袴をくださる通 知)	酉四月		4		垣見弥次兵衛 村上要人 藤 江只八 林嘉膳 加藤十蔵 村上金治→宮内小三郎	17.7× (34.5+56.1)	1	続紙2枚
N11	(家督相続免許のこと)	巳卯九月		9		中村真人 垂井衛門→宮内邦 太郎	17.8×44.0	1	
N12	口演 (宮内家再建の世話人 支配につき取沢の事)	乙酉十月		10		小野藤八→宮内小三郎	18.0× (47.8+ 48.5+48.4+ 48.4+16.7)	1	
N13	(家督相続免許のこと)	卯七月		7		垂井衛門 町田傳右衛門→灘 町 宮内幸次郎	17.6×67.6	1	
N14	(寸志銀献上につき帯刀差 許しのこと)	午三月 (明治三年庚丑 歳)	(1870)	3		味村亨 芳我八尺 玉井俊次 郎 泉経雄 中村淳→宮内小 平太	18.2× (37.9+27.2)	1	
N15	(家督相続免許のこと)	申二月 (萬延元年庚申 歳)	(1860)	2		吉田新兵衛 新諫見→宮内小 三郎 同昌太郎	18.1× (44.3+20.3)	1	続紙2枚
N16	(勅使御馳走御役の御用銀 上納につき帯刀差許しのと)	亥十月 (文久三年癸亥 歳)	(1863)	10		國嶋六左衛門 中村軍八 亀 田文左衛門 森脇兵衛 滝野 佐右衛門→宮内小三郎	18.2× (33.3+ 47.5+41.2)	1	続紙3枚

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西暦	月	日	作 成	寸法 (cm)	数 量	備 考
N17	多病によって休息願出る	辛未十月		10		→宮内小三郎	17.5× (47.0+20.6)	1	続紙2枚
000-0	古帳田畠高横貫帳	〔明治廿一年四月〕 (箱 拵)	1878	4		宮内小三郎	34.7×25.0× 19.3	1	木箱
001-1	田畑畝高横貫・米湊村・森 村・本郡村・中村	宝暦拾壹年辛巳年八月吉 辰	1761	8		宮内小三郎道孝	32.0×21.5	1	内題に宝暦四年とあり、 縦帳99丁 (墨付73丁)
001-2	田畑畝高横貫・下三谷村・ 上三谷村	□□ (宝暦カ) 拾壹辛 巳年九月□		9		宮内小三郎道昭	32.0×21.7	1	縦帳97丁 (91丁)
002-1-1	田畑定扣帳 下三谷村分	天明二壬寅年四月	1782	4		〔宮内小三郎〕	28.5×22.5	1	縦帳104丁 (97丁)、 中にいくらかの断簡あり
002-1-2	田地譲渡証文之事	文政十一戌子十一月	1828	11		□□→近江新蔵	23.9×33.3	1	002-1-1の最後の頁に 挟まれていた
002-1-3	断簡						16.0×21.4	1	002-1-2に挟まれていた
002-2	田畑定扣帳 上吾川村・下 吾川村・上三谷村	天明二壬寅年四月	1782	4		宮内小三郎	27.7×22.5	1	縦帳53丁 (50丁)
P03	田畑定扣帳 本郡村	明治十三年六月	1880	6		宮内小三郎	27.6×22.8	1	縦帳、貼札、書き込み、 封じ込め、多数あり、 その他雑多な処理
Q01	田畑高宛定扣帳 下吾川村 六冊之内	天保六乙未歳十一月	1835	11		宮内小三郎	31.6×21.6	1	縦帳11丁 (墨付き10 丁)

灘町宮内家文書目録 近世編③

史料 番号	表 題	年 月 日	西 暦	月	日	作 成	寸 法 (cm)	数 量	備 考
Q02	田畑高宛定扣帳 上三谷村	天保六乙未歲十一月	1835	11		宮内小三郎	31.5×21.5	1	竖帳16丁 (墨付き14丁)
Q03	田畑高宛定扣帳 米湊村	天保六乙未歲十一月	1835	11		宮内小三郎	31.6×21.5	1	竖帳54丁 (墨付き53丁)
Q04	田畑高宛定扣帳 市場村・ 稻荷村	天保六乙未歲十一月	1835	11		宮内小三郎	31.5×21.5	1	竖帳7丁 (墨付き4丁)
Q05	田畑高宛定扣帳 下三谷村	天保六乙未歲十一月	1835	11		宮内小三郎	31.4×21.8	1	竖帳54丁 (墨付き52丁)
Q06	田畑高宛定扣帳 森村	天保六乙未歲十一月	1835	11		宮内小三郎	31.4×21.8	1	竖帳24丁 (墨付き23丁)

伊予市史資料集第9号

灘町宮内家文書目録 近世編③

令和6年3月31日

編集・発行 伊予市教育委員会

〒799-3113 愛媛県伊予市米湊820番地

TEL 089-982-1111 (代表)

印刷 太陽印刷株式会社

〒790-0921 愛媛県松山市福音寺町514-1

TEL 089-932-2881
